

だうんとびっくす

まちの話題や出来事をご紹介します

▶トロフィーと盾を披露する梅瀬さん(右)と松岡さん。



市内の中学生がそろって県1位

「高円宮杯第73回全日本中学校英語弁論大会県予選・県中学校英語弁論大会」で1位になった広瀬中学校3年の松岡花音さんと「少年の主張県大会」で最高賞の知事賞を獲得した伯太中学校1年の梅瀬真心さんが10月27日、田中市長に受賞を報告し、スピーチを披露しました。

松岡さんはデジタル社会に求められる新しい知性について、梅瀬さんはアフガニスタンにランドセルを寄付した経験がテーマ。二人は、少し緊張しながらも堂々とスピーチを発表していました。

今月の一枚



赤屋中学校と伯太中学校が統合してから50周年を迎えるのを記念して伯太中学校統合50周年記念音楽祭が行われました。生徒たちは学年やクラスごとに課題曲と自由曲を合唱。会場にきれいなハーモニーを響かせていました。10月30日：アルテピア

▶この日は6班に分かれて、希望した企業を2社ずつ訪問しました。



ものづくり企業を知るツアー

市内にある企業に関心をもってもらおうと10月6日、情報科学高校の1年生104人が「企業見学ツアー」に参加しました。

このツアーは市内11事業所の協力を得て実施。「見て・触れて・知って・考える」をテーマに、製造業を中心とした企業を訪問しました。秦精工株式会社を訪問した班は、担当者から特殊鋼の精密な加工技術で造られた製品などの説明を受け、その後、航空機部品専用工場などを見学しました。

荒木陽海さんは「職人技を見ることができ、貴重な経験になりました」と話していました。

発電所2号機を視察 市長日記

中国電力島根原子力発電所2号機がこのほど、国の新規制基準の適合性審査に正式合格。出雲市長、雲南市長らと、その安全性を確認するため現地を視察しました。

2号機の原子炉建屋や津波対策用の防波壁など、安全設備を確認。再稼働への対応は、市議会をはじめ、安全対策協議会などの意見をよく聴き、総合的に判断していきます。



◀原発2号機の原子炉建屋を視察する田中市長(中央)。(10月19日)





このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。



▶3級から准名人までが出演しました。写真は踊り（初段）。



郷土の音色を響かせる

郷土芸能「安来節」を唄って秋を盛り上げようと11月3日、安来中央交流センターで「みんなで唄う安来節」が行われました。

出演者は、唄、絃、鼓、踊り、銭太鼓を階級別に披露。日頃、各教室で取り組む稽古の成果を発揮していました。会場では、郷土芸能を一目見ようと、安来節保存会会員のほか、一般のお客さんも観覧。秋の安来に響く郷土の音色を楽しんでいました。

今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で出演は、同会会員のみが行いました。

民間活力を生かしてまちの発展を

市政のさらなる発展を目指し、市と明治安田生命保険相互会社は包括連携協定を締結しました。10月26日には締結式を行い、田中市長と瀬戸康広同社松江支社長が協定書に署名。今後は、市政の情報発信や市民の健康増進、スポーツ支援などを協働で取り組むこととなります。

瀬戸支社長は「生命保険会社の強みを生かして、相乗効果を生み出し、まちの発展に貢献できるようにしたい。一緒に汗を流して取り組みたいと思います」と話していました。



◀署名した協定書を持つ田中市長と瀬戸支社長（左）。

豊かな自然の表情を観察

自然とふれあいながらSDGs（持続可能な開発目標）について学んでもらおうと、11月6日に荒島古代出雲王陵の丘で「SDGsネイチャーゲーム」を行いました。

参加した小学生の親子づれらは、周辺を歩きながらカードに書かれたSDGsに関連する12個のマークを探しました。風を感じたり、木にいる生き物を観察したり、自然の香りを嗅いだりするなど、未来に残したい地域の自然とふれあいました。

原双葉さんは「普段の街歩きでも意識して調べてみたいです」と話していました。

▶聴診器を木の幹に当て、木を動かして感じました。



◀手拍子をする児童。1〜4年生の94人が参加しました。

ペルーの民族音楽に触れる

音楽を通して感受性豊かな心を育ててもらおうと10月15日、島田小学校でアルテピアが主催したコンサートが行われました。

演奏したのは、ペルー出身の兄弟グループ「ワイキス」。民族音楽の代表的な楽曲“コンドルは飛んで行く”などを披露しました。演奏の合間には使用する楽器について解説。兄弟ならではの息の合った演奏とトークに子どもたちは聴き入っていました。

4年生の田村季龍さんは「音色の違いや楽器の名前を知ることができて良かったです」と話していました。